

玉兔 (玉兔月影勝)

〱 実に

樂天が唐詩に

つらねし秋の名にし負ふ

三五夜中の新月の

〱 中に餅つく玉兔

餅ちやござらぬ望月の

月のかげかつ

〱 飛団子

〱 やれもさ

うやゝれ

やれさてな

〱 臼と杵とは女夫でござる

〱 やれもさやれもさ

〱 夜がな夜ひと夜おゝやれ

〱 とゝんが上から

月夜に

そこだぞ

〱 やれこりやよいこの

団子が出来たぞ

おゝやれ

〱 やれさて

〱 あれはさて

〱 これはさて

〱 どつこいさてな

〱 よいと

〱 よいととな

〱 「これわいさのよいヨイ」

〱 これはさておき

〱 昔々やつがれが

手柄を夕べの添乳にも

ばゝ喰たちゝやがその敵

〱 うつやぼんばらぼんと

腹鼓

〱 狸の近所へ柴刈に

きやつめもせたら大束を

えつちりえつちりえぢかりまた

シヤござんなれこゝこそと

後から火打でかつちかち

かち

かち

かちかちの

山と云ふうちに

アツツ

アツツ

そこで焼傷のお薬と

蕃椒なんぞで

みしらして

今度は猪牙舟合点だ

〱 心得狸に土の船

〱 面舵 取舵 ぎつちらこ

〱 ういた波とよ山谷の小舟

焦れ焦れて通はんせ

〱 こいつは面白おれさまと

洒落る下

よりぶくぶくぶく

のうのうこれはも泣ツ面

よい気味しやんと仇討

それで市が栄えた

手柄話にのりがきて

〱 お月様さへ嫁入りなさる

〱 やつときなさるせ

とこせ

〱 年はおいくつ十三七ツ

〱 ほんにサア

お若い

あの子を生んで

〽やつときなさるせ

とこせ

〽誰に抱かせまようぞ

お方に抱かしよ

〽見てもうまそな品物め

〽しどもなや

〽風に千種のはなうさぎ

風情ありける月見かな。